

2022.11.1発行

 伊豆市 【No.74】

議会だより

本号の
ポイント!

〈令和3年度決算審査〉
私たちの税金はどう使われた?

狩野川記念公園イチョウ並木

令和4年9月定例会で、議会は次のとおり可決・認定しました。

Table with 2 columns: 報告, 予算, 条例, その他. Content includes reports on financial ratios, budgets for fiscal year 2022, and regulations on employee benefits and waste management.

賛否の分かれた議案 table. Columns: 議員名 (小川多美子, 浅田藤二, etc.), 賛否 (○ for賛成, × for反対), 議決結果 (可決).

※1 ○…賛成 ×…反対 ※2 議長(小長谷 順二)は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

議員の視点から(議案質疑) 令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定. Q: 平和寺訴訟問題の経過報告がされたが、弁護士謝礼以外に、訴訟費用として事務負担はあるか. A: 作業道開設や防護柵の追加などに要した費用を加えるため、訴えの変更を行いました。これに伴い印紙代として4万8千円を、準備書面の郵送など裁判に付随して生じた実費として約4万7千円を支出しています。

令和4年度伊豆市一般会計補正予算(第3回) 変更予定の八木沢・小下田地区指定避難所の改修整備に係る予算だが、財源となる起債の内容と、市の実質負担額は。 A: 緊急防災・減災事業債と一般財源を計上しています。借入額としては約9千万円です。市の実質負担額は、概算で約3千万円です。 条例の施行開始により、市民生活上及び搬入事業者にとって、現在と比較しどのような変化が起きると予想するか。 A: 現行との変化については、清掃センターの焼却施設と、土肥戸田衛生センターが稼働停止となり、令和5年1月に新ごみ焼却施設「クリーンセンターいず」が本格稼働することにより、燃やせるごみの直接搬入は、クリーンセンターいずに搬入していただきます。粗大ごみなどの資源ごみは、柏久保・土肥のリサイクルセンターにこれまでどおり搬入できます。

令和4年伊豆市議会 8月臨時会・9月定例会

会期：令和4年9月1日(木)～9月30日(金) 会場：伊豆市役所本庁2階 議場・委員会室

◆会期日程

Table with 3 columns: 日付, 会議, 摘要. Lists dates from 9月1日 to 30日 and corresponding sessions like 本会議, 全員協議会, etc.



8月臨時会

会期：令和4年8月15日(月)



「工事請負契約の締結について」 松原公園に整備する津波避難複合施設の建築工事の契約



建設予定の津波避難複合施設▶

要チェック議案

- ①令和3年度決算の認定 ②令和4年度一般会計補正予算 ③条例の一部改正・制定 ④工事請負契約の締結



令和4年度一般会計補正予算(第3回)

主な増額は、諸支出金、教育費、衛生費、消防費

※1万円以下は切り捨て

- 1. 衛生費：保健衛生総務費 / 予防費 / 健康づくり推進事業費 / 火葬場費 【2億7,368万円】 (市内公的病院等補助金 他) 2. 消防費：災害対策費 【1億409万円】 (八木沢・小下田地区指定避難所改修整備 他) 3. 教育費：中学校管理費 / 資料館費 / 体育施設費 / 学校給食費 【4億5,358万円】 (物価高騰などによる新中学校建設工事費の増 他) 4. 諸支出金：基金費 【4億8,502万円】 (前年度決算剰余金に係る財政調整基金積立金の増) 5. その他：総務費 + 民生費 + 農林水産業費 + 商工費 + 災害復旧費 【1億1,423万円】 (キャンプ場 Wi-Fi 整備 / 児童措置費 / 保育所費 / 生活保護総務費 他)



9/15・16 連合審査

審査した主な質疑



質疑

令和3年度一般会計歳入歳出決算の認定

Q TOKU-KAI-0推進事業で、予算に近い実施件数が見られるが、補助額が増えたことにより、実施する件数が増加傾向になったか。また、耐震診断の費用に対する補助額の上限や、実際の耐震化に対する補助額は、

A 補助額が増えたのではなく、希望者が増えたので、予算を増やしました。実施件数は増加傾向にあります。木造住宅の耐震補強の助成は、一般世帯で100万円、高齢者世帯で120万円です。また、ブロック塀などの撤去事業は上限が26万6千円、改修事業の上限は16万6千円です。

Q デジタル同報無線は、アナログとはどう違い、住民への情報伝達はどう変わったか。

A アナログに比べ聞きやすくなりました。今まで聞こえなかったエリアも、高性能のスピー

Q 有害鳥獣対策事業で、食肉加工センターへの搬入頭数が、令和2年度に比べて少なくなっているが、その理由は、

A 豚熱が近隣市まで広がってきて、伊豆市の一部も感染エリアに入っていたので、一部のイノシシの搬入を制限したためです。

Q 観光調査事業は、伊豆市を訪れる観光客の属性などを調査するとあるが、調査結果はどうだったのか。

A 以前はシニア層の夫婦が多いイメージでしたが、調査の結果シニア層だけでなく、若い親子や小学生の子をもつ家族が多く、日帰りの観光客も多いという結果でした。結果を踏まえ、令和4年度は産業振興協議会の委託事業で実施しています。

Q 中学校の合同部活動補助金は、どのように活用されたか。

A 合同チームを作らないと、中体連に出場できない部活動について、休日の合同練習の際の交通費に対して、補助をする制度です。通学補助金を基準に、距離に30円を乗じて、その2分の1を補助しました。

Q 地方税電子申告管理事業で、確定申告書の受付件数が減少しているが、コロナの影響か、それともe-Taxが増えたからか、減少した理由を把握しているか。

A e-Taxの割合が増えていることは、来場者が減っている一因ですが、激变的に減っている

Q 在宅福祉事業の緊急通報システム業務委託料で、実利用人数は、市が把握している対象者に対して、どれくらいの人数か。また、このシステムによる医療支援はあったか。

A 対象者は、独り暮らしの高齢者約3千人で、実利用人数が22人です。このシステムにより救急搬送した事例が2件ありました。これから独り暮らしの高齢者は増えてくるのが予想されます。必要な人に届くことが大事

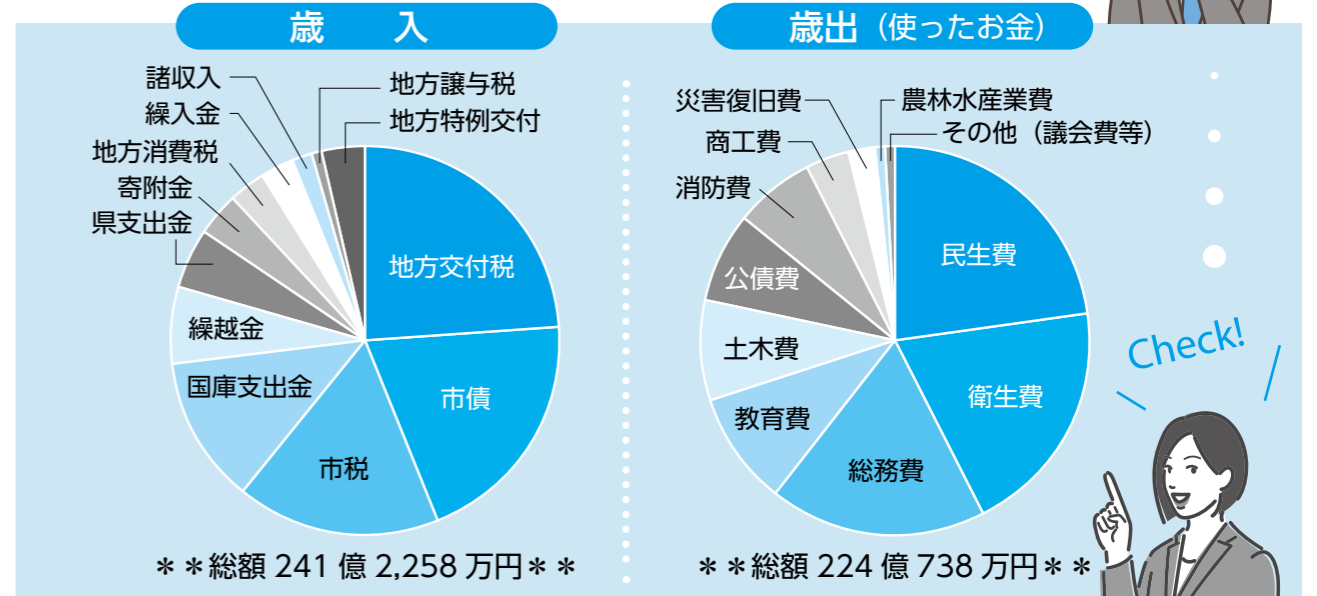
です。周知や広報をしっかりと行いたいと考えています。

令和3年度決算 税金の使いみち

何に使った？



*** 一般会計歳入歳出額 ***



衛生費(45億7284万円)
・地域医療対策事業 (8億6,040万円)
・新型コロナウイルス ワクチン接種事業 (2億4,579万円) 他



土木費(24億8862万円)
・市道整備事業 (4億3,574万円)
・牧之郷駅周辺整備事業 (7,892万円) 他



教育費(28億5945万円)
・新中学校造成工事 (6億8,235万円) 他

令和4年度各会計決算総括表

会計名	歳入	歳出
一般会計	241億2,258万円	224億738万円
公共用地取得事業	1億8,806万円	1億8,738万円
国民健康保険	40億6,153万円	39億6,175万円
後期高齢者医療	4億7,167万円	4億6,955万円
介護保険	37億4,901万円	35億6,862万円
水道事業	5億3,712万円	5億22万円
簡易水道事業	1億3,007万円	1億1,624万円
温泉事業	7,085万円	6,940万円
下水道事業	12億3,353万円	12億9,046万円
財産区(7財産区)	1,139万円	404万円
総合計	345億7,581万円	325億7,504万円

※万円未満を四捨五入しています。
※下水道事業の不足額は、補填されています。

基金とは？

市の預貯金のことです。将来にわたり安定した事業展開を行えるよう、積み立てています。



令和3年度伊豆市基金総額

- 積立額……………12億8千万円
- 取崩額……………6億7千万円
- 年度末現在高…94億9千万円

※e-Tax/各種税金の提出・申請などの手続きを、インターネットを通じて行うことができるもの
※スマホ/スマートフォンの略



9/21

教育厚生委員会

審査した主な質疑や、定例会最終日に行われた討論



◆介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

質 疑

Q 認知症対策事業では、75歳物忘れに関するアンケート結果により訪問を実施したとあるが、実施結果と訪問した件数は、

A アンケートの未返信者が84件ありました。そのうち、地域包括支援センターで把握ができていない方について、全件家庭訪問を行い、状況の確認をしました。

Q 認知症お助けノート(ケアパス)の見直し、安心くつしールの周知について検討したとあるが、検討結果は、

A 見直し予定でしたが、在庫

◆国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

質 疑

Q コンビニ納付は伸びているか。また、どのような効果が表れるのか。

A コンビニ納付は増えていますが、令和2年度から始めたスマホ決済収納と併せ、納税者が利便性をもって納付できる環境を整えているので、収納率の向上に期待が持てる状況です。

◆廃棄物処理施設の供用開始に伴う関係条例の整理に関する条例の制定

質 疑

Q 焼却施設が新しくなるが、指定袋の金額が変わらないのはなぜか。

A ごみの有料化をした時から、ごみ袋の製造費に加えて、ごみの量に応じて負担していただく受益者負担の制度で設定していますので、同じ考え方を維持し金額は変えずに進めたいと考えています。

Q 施設が新しくなると、運営費やコストも変わるが、値上げや値下げについて議論はなかったのか。

A 先進的に取り組んでいる事例を参考に、審議会にもかけて設定しています。ごみ袋の製造や配送の経費を引くと3千万円程がごみの処理費に充てられる

が多いため、令和4年度の改定は見送り、今後の改定に向けて、検討をしています。徘徊の可能性のある方が外に行く際、杖や靴のほうが身につけやすいことから、引き続き「つしール」を発注することに決定しました。

◆黒須 淳美議員 賛成討論

市内経済への対策として、緊急経済対策事業が実施されました。また、東京2020大会のレガシー創出事業は、健康増進につながる事業としての成果が見られます。

主な支出としては、新中学校整備事業、公的病院移転新築事業費補助金などがあげられます。持続可能なまちづくりのため、必要な事業であり、市民の過度な負担につながらないよう財政運営が行われています。

市長の施政方針にあった「安定した歳入の確保」と「徹底した歳出の抑制」という考え方を、更に効果的に来年度の予算編成に生かしていただきたいと思えます。

経費ですが、ごみの収集や運搬などには1億5千万円から2億円ほどかかり賄いきれませんので、全部を税金で賄うのか、一部でも搬出する量に応じて負担いただきながら、税金の使い道を有効にとの考え方を含めて進めているところです。

※認知症お助けノート(ケアパス)／認知症の方、疑いのある方のご家族に、お役立ち情報をまとめたもの



クリーンセンターいず

9/20

総務経済委員会

審査した主な質疑や、定例会最終日に行われた討論



◆令和3年度決算 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定

質 疑

Q 経営指標の推移で令和3年度の料金回収率が98.5%となっているが、これについて当局の評価はどうか。

A 令和3年度の料金回収率は100%を下回り、給水収益だけでは若干厳しい状況になっています。常日頃から経費削減が必要であると判断しています。

◆温泉事業会計剰余金の処分及び決算の認定

質 疑

Q 温泉事業の収益的支出で令和2年度から1千4百万円ほど支出が増えている。これは経営改革のためのアウトソーシングだと思いが、他にも要因はあったのか。

A 支出増額の要因は、アウトソーシングのための調査委託料1千91万円です。他は電気料などの増です。

◆令和4年度補正予算(第3回)

質 疑

Q 農林水産費の農業振興費で、対象者の増加に伴う次世代人材資金交付金の増だが、この事業の説明を。

A 農業次世代人材資金交付金は、補助率100%の国の事業です。新規就農を促進し、農業人材を呼び込み、定着を図るため、就農に向けた経営資金を交付し、新規就農者を支援していく制度です。

◆松原公園条例の一部改正

質 疑

Q 芝生広場、津波避難複合施設を指定管理にすることなどが、防災施設の部分を除く理由と、どのように指定管理者の募集をするのか。

A 避難に係わる防災用具の保管や補給・入替は、行政の責任で行いますので、指定管理は考えていません。

今後は、令和4年12月に公募し、指定管理者審査会を経た後、

令和5年6月議会に諮るスケジュールです。オープンは今令和6年4月を考えています。

◆浅田 藤二議員 賛成討論

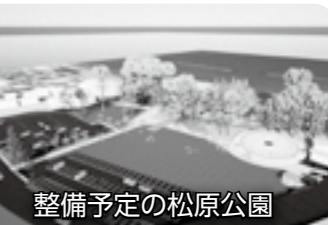
予定されている水道ビジョンの策定をとおして、水道施設の将来像を十分検討し、経営戦略の見直しなど、議論を深めていただきたいと思います。

事業統合により、効率的・効果的な経営戦略などの運営計画が立てやすくなるのが予想されます。また、統合により市民への影響はないことも確認させていただいていきます。

今後の水道事業のさらなる健全経営に期待しまして、賛成討論とさせていただきます。

◆飯田 大議員 賛成討論

補正予算歳出に組み込まれた事業は、市民の生活利便性の向上、安心・安全を確保する上で欠かすことのできない内容であり、早急に市の行うべき事業と判断し賛成討論とします。



整備予定の松原公園



質問 Question 国道・県道整備の要望状況と展望



青木 靖 議員

市民生活や市内産業に影響する国道・県道の整備促進のために、どのように要望活動をしていますか。その成果と今後の展望はどうですか。伊豆縦貫道を縦軸にした横軸の道路・アクセス道路の整備、伊豆半島版くしの歯作戦を可能にする伊豆市内の道路整備を促進しませんか。今後とも、国道・県道の早期完成に資する取り組みに積極的に協力したいと考えます。

建設部長 伊豆縦貫自動車道は、月ヶ瀬から河津町までの、天城峠区間の事業化に向けて動いており、伊豆半島の縦軸が通ることによって周遊性が向上するため、経済波及効果は計り知れないものがあるかと期待しています。県道については、修善寺駅周辺の慢性的な渋滞緩和と周辺利用の利便性向上が急務であると認識し、事業要望しています。

修善寺・天城湯ヶ島線は、一定の改良がなされ、残すは一部未整備区間となるため、引き続き早期の改良工事の完了を、強く関係機関に願っています。

その他質問 まちづくりに影響する人材確保・企業動向への対応



動画はこちら

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ

9月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。

質問 Question 民間事業者による宅地開発支援制度を問う



星谷 和馬 議員

民間宅地開発支援補助金は、人口減少対策として、地域の中心地への居住誘導を目的に民間事業者の宅地開発を支援する制度です。対象地は、土肥・天城・中伊豆の小学校周辺、牧之郷地区、修善寺駅から半径1km、未利用公共施設などとなっておりますが、それ以外の地区への拡大を検討しませんか。

答 まずは設定したエリアへの誘導を進めます。

総合政策部長 この補助制度で、対象とした各エリアは、人口減少が続く中においても都市機能を維持させる必要があるとともに、小学校が存続するためには一定の居住人口が必要であるとの考えから、総合計画に位置付け、居住誘導を図ろうとする市の方針に基づくものです。従って、現時点では現在設定したエリアへの誘導を、まずは進めていきたいと考えています。



動画はこちら

質問 Question 有機農業の拡大でオーガニック食品の普及を



杉山 誠 議員

化学農業には、人体への悪影響の懸念や使い過ぎによる耐性病害虫の出現などの問題があります。また、化学肥料は環境への悪影響や、国際情勢による原料輸入の困難さから、脱化学肥料の認識が強まっています。消費者のオーガニック食品需要が高まりつつある今、有機農業の普及に向けた取り組みを強化しませんか。特別栽培米支援などを継続しつつ、さらなる環境負荷低減を目指した農業を推進したいと考えます。

産業部長 低農業・低化学肥料による特別栽培米事業を実施しています。支援を継続しつつ、さらなる環境負荷低減を目指した農業を推進したいと考えます。一方で有機農業の推進には、生産者の栽培方法の転換や、市場の開拓、消費者の意識改革などが課題です。生産・消費の両面から、まずは講演会や説明会などを通じ、市民への啓発や理解促進を進めていきたいと考えています。

その他質問 ○市民のための自治体DXをどのように進めますか
○男性用トイレ個室へのサニタリーボックス設置について



動画はこちら

質問 Question 伊豆市公共施設再配置計画を問う



鈴木 優治 議員

伊豆市公共施設再配置計画(素案)が本年2月に示されました。また、令和4年5月以降地区ごとに市民説明会が開かれました。これらを踏まえて、特に再配置に向けた骨太の方針として、積極的な借地の解消を掲げていますが、半年過ぎた現在の進捗状況はいかがでしょうか。

答 今年度末までに再配置計画を策定したいと考えます。

総務部長 市民説明会で、市民の皆様からいただきましたご意見について、項目や施設ごとに整理をした上で、その対応について担当課で検討をしているところです。

今後は、改めて再配置計画案について、庁内検討委員会で検討・協議した後、パブリックコメントを再度行い、今年度末までに再配置計画を策定したいと考えています。

その他質問 ○小児科の不足危機について



動画はこちら

総務経済委員会 行政視察



島根県邑南町役場を訪問



チヨウザメ養殖場を視察



寺本ファームを視察



広島県北広島町役場を訪問



総務経済委員長 下山 祥二

島根県邑南町では、「A級グルメ」と「日本一の子育て村」の推進による、雇用の創出と移住・定住人口、観光交流人口の増加を目指す取組みや、県立矢上高校の取組みについての視察をしました。広島県北広島町では、地域の課題解決の取組みとし

て、まちづくり会社「はなえーる」の説明を受けました。両自治体とも地域の一体感を感じ、伊豆市においても、住民・地域・行政が一丸となり、自分たちが移住定住しなくなるようなまちづくりを推進すべきであると改めて強く思いました。

教育厚生委員会 行政視察



長野県大町市役所を訪問



社会福祉法人 くりのみ園を視察

教育厚生委員長 間野 みどり

長野県大町市では、公民学連携によるまちなか再生事業と、市議会による事務事業評価について。社会福祉法人「くりのみ園」では、福祉と農業の連携による障害者への働く場の提供、所得向上、就労訓練等につ

いての取組みを視察しました。コロナウイルスの影響で久しい行政視察でしたが、他の市町村の方や市議会の方の話を実際に聞くことは、大切なことであり、多くの刺激を受ける機会となりました。

農業政策に福祉分野との連携の支援を



三田 忠男 議員

伊豆市内のコロナ増加の現状と令和4年伊豆市新型コロナウイルス感染症総合緊急対策事業について



動画はこちら

遊休農地の増加は景観を壊します。福祉分野と農業政策の連携の取り組みで、遊休農地の解消・担い手確保と、障害者・高齢者等の所得向上とやりがいの創造が図られています。伊豆市として、これらの取り組みを支援している施策はありますか。なければ、新たな支援組織体創設を含めて構築しませんか。

答 農福連携事業への参加・連携を行っています

産業部長 現状では、県が実施している農福連携事業への参加・連携を行っています。今後も継続しながら、国が推進している有機農業による農産物の栽培、及び販売を福祉分野と連携して進めるなど、市の施策の掛け合わせによる効果的な取り組みを進めたいと考えています。

その他質問

○伊豆市内のコロナ増加の現状と令和4年伊豆市新型コロナウイルス感染症総合緊急対策事業について

動画はこちら

男性用トイレにサニタリーボックスの設置を



小川 多美子 議員

生理の貧困、女性の尊厳



動画はこちら

病気や高齢により、尿漏れパッドを使用する男性が増えています。市内公共施設の男性用トイレには、使用済みパッドを捨てるためのサニタリーボックスの設置がありません。今必要とされていない人でも、将来必要となってくる時があるかもしれない。尿漏れパッドを付けても安心して外出ができるよう、ぜひ設置をしませんか。

答 利用状況などを確認しながら、観光施設や社会教育施設など含めて、進めたいと考えています

健康福祉部長 サニタリーボックスは、多目的トイレに30力所設置してあります。未設置の多目的トイレへの設置を順次行い、男性トイレについては、スペースや利用状況などを確認しながら、観光施設や社会教育施設なども含め、進めたいと考えています。

その他質問

○生理の貧困、女性の尊厳

動画はこちら

伊豆市地域医療の現状と課題、検討方法を問う



飯田 大議員

健康福祉部長



動画はこちら

伊豆市の高齢化率は40%を超え、医療の必要性が高まっています。また、新型コロナウイルス感染症により、医療のひっ迫が懸念されています。市民のかかりつけ医をはじめとする、医療体制の概要と、課題に対する今後の検討方法を伺います。

答 医師会を含め、検討するための会議の場を近々設ける予定です

健康福祉部長 市内には、5つの病院と、10の診療所があります。診療所の医師は14名で、高齢化が大きな課題となり、今後の医療体制をしっかりと考えていかなければならない状況だと捉えています。10年後、20年後の伊豆市の地域医療を考え、医師会を含め検討するための会議の場を、近々に設ける予定です。

その他質問

○健康福祉部長

動画はこちら

次のページは▶

議会広報より報告・アンケート募集・編集後記

アンケートを実施中!

ここからアンケートへ

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webからも回答
できます♪

✓ 前月号アンケートにて、貴重なご意見をいただきましたのでご紹介させていただきます。

- ・ QRコードや写真が多くあり、情報量が増え奥行きが広がった
- ・ ページ案内がついてわかりやすい ・ 「市政を問う」が読みやすく読む人に優しい
- ・ 顔写真はマスクを外すと良い ・ 全面カラーだとよりわかりやすい
- ・ 内容豊富で良い勉強になる (★★★★★ 60代 男性)
- ・ 議会内容についてわかりやすく、読みやすい ・ 予算案など興味のある質疑内容がよく分かった
- ・ 各議員、様々な意見があり参考になる ・ 次月号も楽しみに待っている (★★★★★ 80代以上 男性)



広報委員会委員より

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。ページ案内や QRコード、わかりやすい内容など、改善を目指してきたことが評価されたこと、非常に励みになります。今後も議会だよりの紙面改善の参考にさせていただきます。

9月 議会広報

8月29日の FMIS生放送で、杉山誠議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は11月末に12月定例会のお知らせをします。



議会傍聴・視聴のご案内

本会議は感染症対策をしながら、どなたでも傍聴ができます。本会議は、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。



お問合せ / Tel. **0558-72-9906** (議会事務局)

12月定例会の予定

(場所 本庁2階 議場)

【本会議】午前9時30分～

- 11/29 本会議初日
- 12/ 1 本会議2日目(一般質問)
- 2 本会議3日目(一般質問)
- 5 本会議4日目(一般質問)
- 7 本会議5日目(議案質疑)
- 12/20 本会議最終日

【委員会】午前9時30分～

- 12/ 8 総務経済委員会
- 9 教育厚生委員会

※変更となる場合があります。ご了承ください。

編集後記

伊豆市議会基本条例「第12条(議会広報の充実)」では、『議会は、多様な広報手段を活用し、市民等が議会と市政に関心を持つようにするとともに、市民の意見を反映した広報活動に努めるものとする。』と定めています。

私たち議会広報委員会は、この目的を達成するため、議会だよりの様々な『改革』に取り組んできました。今後とも市民の皆さんに『わかりやすく』『身近な』広報紙となるよう努めてまいります。

議会広報委員

鈴木 正人



次回は令和5年2月1日発行予定です。

◀ 議会ホームページ